

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
726	生産調整推進対策事業		01	一般会計	
42	持続的で個性的な農林業を実践する		06	農林業費	
			01	農業費	
			04	農業生産対策費	
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	101	生産調整推進対策事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	02	生産調整推進対策事業
		52-3220			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
①伊賀南部農協無農薬米生産部会 ②コシヒカリ種子更新農家 ③区、土地改良区、営農組合等団体		①無農薬ブランド力の向上を図る。 ②伊賀米コシヒカリのブランド力向上を図る。 ③地域活性化活動を推進する。					
本年度事業内容	①農協無農薬部会が行う普及・宣伝事業に係る補助金交付。 ②コシヒカリの種子更新農家に対し、購入代金の5%を補助金交付。 ③農業施設を始め、農村環境の維持のため、地域が行う施設管理事業、特産品づくり事業などに補助金交付。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,109	2,220	2,220
	委託料			
	補助金	1,810	2,220	2,220
	その他	299		
合計(A+B)		3,549	3,660	3,660
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		3,549	3,660	3,660
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
無農薬米推進	ha	10.1	10.1	10.1			
種子更新補助	ha	163	220	220			
地域活性化補助	件	5	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
①無農薬米推進、②種子更新	作付け面積の増加がブランド価値の向上に繋がる	a	163 目標 ()	220	220
③地域活性化補助	件数の増加が活動の広がりを示すため、毎年5箇所程度ずつ交付し活性化の基礎団体を育成する。	件	5 目標 (7)	5	5

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

①無農薬米生産は伊賀南部農協の無農薬米生産部会の会員が主としてアイガモ農法で生産している。本事業では部会が主催する普及宣伝活動に対して助成を行い、消費者へのPRに努めている。②種子更新補助は伊賀米コシヒカリのブランド力を維持増進するため、毎年良質な種子に更新したものについて、自家育苗にあっては種子代金、購入苗にあってはその代金の5%相当額を助成し、農家の負担軽減と品質維持向上を図っている。③地域活性化事業については、年々農業・農村の後継者が減少する中、また、ほ場整備が進み、各農家の農地の統合が行われ作業効率が上がったところであるが、その結果、農業用施設に係る受益者数も減少し、通常の維持管理作業に動員できる人数も減少したことにより、作業が困難になってきている。このため、従来の受益組合の再編成を促し、加えて地域活性化に関する相談の機会の創出を促すため、1箇所1度限りの助成を

評価	必要性	4	米に関するブランド「伊賀米コシヒカリ」は本事業などの効果もあり、一定の地位を築いている。この地位を将来とも維持していくことは伊賀地域の農業にとって、必要不可欠と考える。また、近年の農業集落にあっては、後継者不足から地域コミュニティが崩壊しつつあり、その再構築に有効な施策であり、継続させたい。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		